

～国内初*ウリ科野菜での重要ウイルス2種を1キットで同時に診断～
「メロン黄化えそウイルス (MYSV)・ウリ類退緑黄化ウイルス (CCYV)
同時検出キット」の開発

茨城県農業総合センターと株式会社ニッポン（代表取締役社長:前鶴俊哉 本店:東京都千代田区）は植物ウイルス病の簡易診断キットの実用化の共同研究を行っておりますが、このたび、メロン黄化えそウイルス(MYSV)とウリ類退緑黄化ウイルス(CCYV)を1つのキットで同時に検出できる国内初のイムノクロマトキット「Agripalette アグリパレット®(メロン黄化えそウイルス・ウリ類退緑黄化ウイルス)」を開発しました。本製品は、ニッポンのグループ会社である株式会社ファスマック（代表取締役社長:布藤聡 本社:神奈川県厚木市）より、2026年3月11日に発売いたします。（*：2026年2月時点、(株)ニッポン調べ）

【生産現場における課題と同時診断の重要性について】

MYSV と CCYV はキュウリやメロンなどのウリ科野菜において品質や収量の低下を引き起こすウイルスです。MYSV はアザミウマ類、CCYV はコナジラミ類によって媒介され、それぞれ異なる防除対策が必要ですが、感染初期の症状では両者の区別が難しく、重複感染している場合は原因ウイルスの特定が一層困難です。早期に適切な対策を講じるためには、迅速かつ正確なウイルスの特定が不可欠ですが、これまで両ウイルスの検出には別々のキットを用いるしかなく、生産者や指導機関等からは同時に検出可能なキットの開発が求められていました。

今回開発したキットでは、1つのキットで両ウイルスを同時に検出できるため、個別に検査する場合と比べてコストと手間を削減できます。専門の機器を必要とせず、生産者等が自ら使用することにより、ウイルス病の早期診断が可能となります。検出結果に基づき、発病株の抜き取りや媒介虫の防除等を速やかに行うことで、被害のまん延を防止し、ウリ科野菜の安定生産に寄与することが期待されます。

【商品概要】

商品名：Agripalette アグリパレット®

(メロン黄化えそウイルス・ウリ類退緑黄化ウイルス)

定 価：25,000 円 (税抜)

内 容 量：10 個

発 売 日：2026 年 3 月 11 日

商品の特長：○MYSV と CCYV を同時に検出できる国内初のイムノクロマト
キット

○専門機器がなくても、ほ場等で使用可能

○操作が容易で、短時間（15分程度）で検出が可能

判 定 方 法：テストラインの有無により目視で判定可能



＜本件に関するお問い合わせ＞

(技術に関すること)




■茨城県農業総合センター園芸研究所
TEL 0299-45-8342 FAX 0299-48-2545

■株式会社ニッポン 広報部
TEL 03-3511-5307 E-mail kouhou@nippon.co.jp

(販売に関すること)

■株式会社ファスマック遺伝子検査事業部
TEL 046-295-8787 FAX 046-294-3738

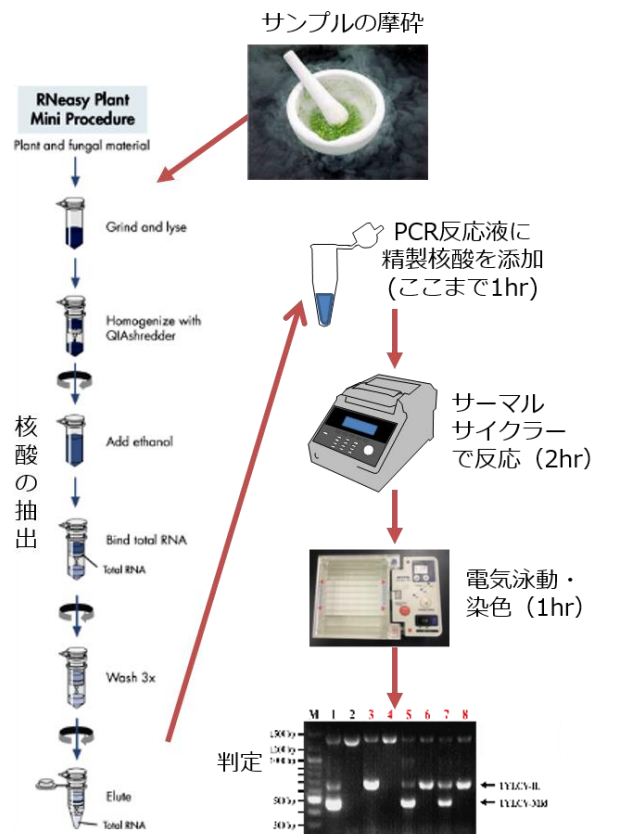
(参考) MYSV・CCYV に感染したキュウリの病徴

| MYSV 単独感染 | CCYV 単独感染 | MYSV・CCYV 重複感染 |
|---|--|---|
|  |  |  |
| 葉にえそ斑点や退緑小斑点が生じる | 葉脈間に退緑小斑点が広がり、葉全体が黄化する | 両ウイルスの症状が複合的に現れる |

※ 感染初期には症状が類似し、目視だけでは原因ウイルスの判別が困難なため、本キットによる診断が有効です。

(参考) 簡易かつ短時間で判断できる「Agripalette アグリパレット®」(従来の方法との比較)

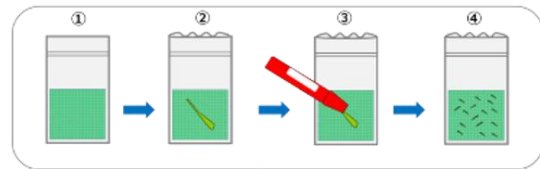
従来の方法 (遺伝子診断法)



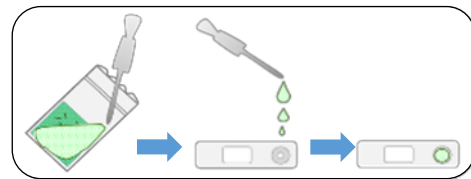
- 操作から判定まで：4時間程度
- 研究機関等で専門の機器を使って診断

検出キット (イムノクロマト)

サンプルの摩砕 (1分)
専用の摩砕袋に検体を入れ、袋の上からマジックペン等の先で摩砕します。



摩砕液の滴下 (1分)
専用のスポイトで摩砕液を吸い取り、テストストリップに滴下します。



反応 (15分程度)



- 測定時間：15分程度
- ほ場等で診断可

| 判定窓 | MYSV | CCYV |
|-----|------|------|
| | 陽性 | 陽性 |
| | 陽性 | 陰性 |
| | 陰性 | 陽性 |
| | 陰性 | 陰性 |